

ニイガタ子ども会

No.147

令和7年8月27日発行

発行／一般社団法人新潟県子ども会育成連合会
事務局／〒951-8131新潟市中央区白山浦1-300

TEL025-230-5298/fax025-230-5292 E-mail:n-kodomo@sage.ocn.ne.jp



6年生を送り新1年生迎える会

加茂市高須町育成会
小学6年生 五十嵐 結愛

今年の3月に6年生を送り、新1年生を迎える会に参加し司会をしました。始めに「加茂ジャンボかるた」をしました。加茂市で作られた郷土学習用の巨大かるたで大きさは縦40cm・横30cmもあり、読み札が読まれるとみんなで走って取りに行きます。普通のかかるたよりも迫力がありました。6年生は足が速いので、私はなかなか取れないのですが、取れた時はとても嬉しかったです。次に「ピンポン玉運びリレー」をしました。お玉の上にピンポン玉を乗せて、落とさな

いように運ぶというゲームで、新1年生には難しそうでした。最後は毎年恒例となっている「ピンゴ大会」をしました。私は欲しかった景品が当たってうれしかったです。4月から6年生に会えなくなることは寂しいですが、新1年生や他学年の子、地域みなさんと一緒に会をまた行いたいと思います。そして学校とは違う地域交流を盛り上げていきたいと思っています。



たくさんの思い出がつまった子ども会

佐渡市若葉・若竹子ども会
中学3年生 北嶋 心葵

私は小学校1年生から6年間子ども会行事に参加し、バーベキュー、シーグラスを使っての雑貨作りやペットボトルでいかだを作りプールで乗って遊ぶなどさまざまな体験をしました。

そして中学校2年生の時、弟の子ども会行事の「日本ジオパークに認定されている佐渡市の自然を学びながら断層ホットケーキ作り」に家族で参加しました。ホットケーキミックスとココアを重ねて地層を作り、ヘラを使って地層を押してできた断層をみん

なで観察しました。

佐渡市にある断層のしくみを理解することができてとてもおもしろかったです。その後はみんなと協力してホットケーキを作り、いろいろなトッピングをしておいしく食べました。子ども会では他学年や地域の人達と関わりいろいろな体験をし、たくさんの思い出ができました。企画や準備をしてくれた方々に感謝しています。ありがとうございます。



▲新聞紙でつくったドーム！



わんぱくキャンプの思い出

阿賀野市子ども会
高校3年生 笹川 侑香

毎年楽しみにしている「わんぱくキャンプ」。私達が住んでいる阿賀野市には、「五頭連峰少年自然の家」があります。そこで1泊2日のわんぱくキャンプが行われます。私達が楽しみにしているプログラムの一つに沢登り体験があります。山の川を上流に向かって川の中を歩き、沢山の岩を乗り越え「魚止めの滝」を目指して進んでいきます。途中では石ころが靴に入って痛かったりしますが、ゴールした時は達成感で疲れが吹っ飛びます。夜はキャンプファイヤーと花火大会を行い

ました。2日目は朝から雨が降っていたので、体育館での活動となりました。指導者の方々が新聞紙とセロテープを持っていたので、何をやるのか気になっていたところ、「みんなで新聞紙をセロテープで貼り合わせて皆が入れるドームを作るぞ！」って言いました。最初はドームなんて出来ないだろうと思っていたので、完成した時は感動しました。完成後は皆で中に入り、中から破いて飛び出した楽しさは一生忘れられません。



◀昭和55年の開設以来、かつて夏休みにはいつも賑わっていた子どもプール



少子化と高齢化のため令和6年度をもって、やむなく廃止となりました。



寂しいプールの廃止

上越市昭和町1丁目
当時育成会長 竹内 恵市

上越市は昭和町1丁目のいちょう公園など、市内12か所に設置された子どもプールについては、少子化による利用者減や施設の老朽化のため、令和6年度をもって廃止となりました。このプールは昭和55年に町民や近隣町内の期待のもとで開設されました。近くにプールが出来たことで多くの子どもたちから利用していただきました。また、近くの幼稚園や保育園からも送迎バスで来ていただきました。夏休み期間でもあり、毎日来てくれる子どもも多く、

賑やかな子どもの声が響いておりました。

あれから45年が経過しました。近くの小学校の児童数も多い時の半分に減りました。それ以上に、最近は高温の日が多くなり、半日で閉館となる日が多くなってきました。今年から水の入らないプールを何年か見ることになります。何よりも子どもたちの元気な声が聴けないことが寂しく感じます。

編集後記

今年から年2回の発行に変わりました。県内各地の子どもの声・子ども会活動の楽しさをメインに伝えていきます。原稿をお寄せくださった皆様、ありがとうございました。



←県子連ホームページはこちら！
<https://www.kodomo-kai.or.jp/niigata/>



豊かな体験機会を子ども会でつくろう

会長 須田 貴子

日頃より、地域での子ども会活動にご支援いただき、ありがとうございます。

昨年のパリオリンピックでは、若い選手たちの活躍が目撃されました。彼らの「好きだから頑張りたい」「悔しいから上手になりたい」という気持ちが、成長の原動力になっていたように思います。

近年はコロナ禍や保護者の多忙により、体験の場が減ってきています。しかし、家庭の事情で外出や体験が難しい子どもたちにも、地域の子ども会が寄り添い、さまざまな経験の場を提供することができると考えま

す。最近では、子ども会の運営に中高生や大学生が関わる事例もあり、地域のつながりが新たな形で生まれています。子ども会は普段から声を掛け合える関係づくりを通じて、災害時にも役立つ大切な活動です。私たちも、形式にとらわれず、子どもたちに寄り添った体験活動を安全に配慮しながら行っていきたくと思っています。これからの活動を計画されている皆さまにおかれましては、安全対策を取り入れ、子どもたちが安心して参加できるよう配慮いただければ幸いです。



創立50周年を迎えて

新潟県子連 会長 桐生 正栄

新潟県子連は、昭和49年4月に創設され、令和6年11月16日、50周年の意義深い節目の年にあたり記念式典、記念事業を開催いたしました。記念事業として「佐藤ひらり記念コンサート」演題「子どもの心と音楽の大切さ」と題して出演いただき、市民の皆様大変喜んでいただきました。

設立当初、23の地域子ども会によって結成され、市町村合併や少子化にともなう減少や環境の変化より、現在35余りの地域子ども会によって組織されています。子ども達の健やかな成長を願い、地域子ども会、

地域自治会と一体となって地域が子ども達を育むことが単位子ども会の役割であり、その活動を支援することが市子連の役割と考えています。

市子連活動の一つで、平成5年より始まった石川県加賀市子ども会との交流事業は32年を迎え、今年8月加賀市の子ども達を新潟県市にお迎えすることになっています。このような活動の中から地域の明日や未来を担う子ども達が一人でも多く育つことが市子連の使命と考え、理事役員、関係者一同、活動しています。



県子連総会報告

副会長 宮川 祐一

5月18日、新潟県生涯学習センターにて、第50回新潟県子ども会育成連合会総会と会員研修が開催されました。総会では、長年活動に尽力された個人や団体への表彰が行われ、特に16年以上事務局員として支えられた平原しのぶ様には、功績を讃える表彰が授与されました。令和6年度の事業・決算報告、7年度の事業計画・予算案も賛成多数で可決され、基本方針に基づいた事業が各部から発表されました。令和8年度の50周年記念式典に向け、県下役員一同が意欲を新たにしました。会員



研修では、新潟県生涯学習推進センターの渡辺修司次長より、CS(コミュニティ・スクール)と地域連携についての講演がありました。「学校に気軽に連絡してほしい」「自分にできることを活かして関わってほしい」との呼びかけがあり、地域との関係づくりの重要性を再認識しました。私自身も、子ども会や地域行事を通じて、学校や地域とのつながりを深め、より良い地域づくりに貢献したいと感じました。



謝 辞

新潟県子連 福田 由美子

今回はこのような素晴らしい表彰をいただき、誠にありがとうございます。この表彰は、私にとって大きな喜びであるとともに、これまで活動を振り返るとも貴重な機会となりました。

私の所属する新潟県子連では年々子どもや地域子ども会の数が減少しています。特にコロナ禍以降は交流会を計画しても子どもが集まらず中止になることが何度もありました。そこで、小学3年生以上の参加要件を1年生以上にし、保護者の参加も可能にすることで、参加者を増やして、子どもた

ちに喜ばれる交流会を開催することができました。今後も様々な工夫をしながら、子どもたちや地域子ども会の活動の一助になればと思っています。今回の表彰は、私だけの力ではなく、ともに歩んできた諸先輩や仲間と一緒に活動できたからです。これを励みに、子どもたちが笑顔で過ごせる地域づくりを目指して、さらに活動を深めてまいります。



自然の家の素敵な活用方法

新潟県少年自然の家 所長 佐久間 義久

新潟県少年自然の家は、今年度より指定管理者制度による運営に移行し、(株)サンアメニティによる運営となりました。もちろん、設置目的や利用対象等については今まで通りです。どうぞ、これからも新潟県の生涯学習の拠点施設としてご利用くださるようお願い申し上げます。さて、今年度もカヌーシーズンとなり、連日大勢の皆さんの歓声が広がっています。新潟県少年自然の家と言えばカヌーが大人気アクティビティですが、秋・冬季も思う存分楽しめる体験活動を沢山揃えています。子ども会、PTA、県民皆様の一年通しのご活用をお待ちしています。



① 赤松林でスノーシュー体験

程よい積雪の風穏やかな遊歩道をゆっくりでも、ザクザク速く進んでも、楽しく歩けば心地よい汗が流れます。時折、キジや白兔にもばったり出会います。

② 広い館内で思う存分室内活動

全館を使つてのフォトオリエンテーリングや、館内チャレンジにインドアアスレチックと盛りだくさん。室



内モルックも大人気。友との絆がギュギュッと深まります。

③ ゆっくりのんびり創作活動

壁飾り、キーホルダー作りに、野趣いっぱいの焼杉板作りと様々をご用意しています。クリスマスの時期には、松ボツツリーがおすすめ。オリジナルのプチツリーに感動です。

④ 楽しくおいしくグルメ体験

うどん打ち、ピザ作りにぼっほ焼きと楽しくおいしい体験もご用意しています。めつぶしから始める本格的な餅つき体験もご用意しています。

⑤ 企画事業も盛りだくさん!

秋・冬季もいろいろなイベントを企画しています。クリスマスリース作り、餅つき大会、ナイフでクラフト体験、たき火体験、アウトドア料理体験会まで盛りだくさんです。ぜひ、HPをご確認ください。皆様のご来所を心よりお待ちしております。

今後の予定

- 第2回ジュニア・リーダー及び指導者・育成者中級研修会
令和7年9月13日(土)～14日(日) 長岡市川口公民館田山分館
- 第3回ジュニア・リーダー及び指導者・育成者中級研修会
令和8年3月8日(日) 長岡市内コミュニティセンター(予定)
- 全国ジュニア・リーダー研修会
令和7年10月11日(土)～13日(月) 川崎市青少年の家
- 関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会(千葉大会)
令和7年10月19日(日)～20日(月) 千葉県習志野市 幕張TOSEI
- 上越地区子ども会大会
令和7年10月25日(土)～26日(日) 妙高青少年自然の家

- 第43回子どもの遊びのひろば・ネット加入説明会
令和7年11月9日(日) 燕市分水総合体育館
＜時間＞11時～15時
- 全国子ども会育成中央会議・研究会
令和7年11月15日(土)～16日(日) 熊本市熊本城ホール
- 理事会・県子連創立50周年実行委員会
第2回 令和7年9月7日(日) 新潟県中央公民館(クロスバール)
- 第3回 令和7年12月7日(日) 長岡市さいわいプラザ
- 第4回 令和8年3月8日(日) 三条市のつくり学校



お知らせ

令和8年度から
ネット加入になります!

全国子ども会安全共済会への加入は、令和8年度からネットでの加入をお願いすることになりました。ネット加入手続きは全子連ホームページの右側「安全共済会ネット加入はこちらから!」をクリックし、手続きを進めます。県子連ホームページに「加入手続きのマニュアル」がアップしてあります。参考にしてください。



全子連ホームページ

県子連ホームページ

※所属市子連のネット加入手続きができない場合は、これまで通りの手続きをお願いします。

※ネット加入の説明に県子連事務局または各地区理事が伺いますので、県子連事務局までご連絡をお願いします。

また長野県子ども会育成連合会ホームページに「ネット加入動画」がアップされています。手続きを進める参考にしてください。